

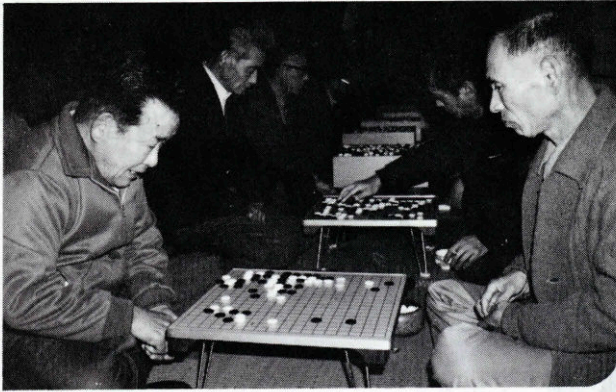
フォト・ルポ

◀ ウーム 困ったなあ～

1月16日、中央公民館において、町教育委員会主催による新春囲碁将棋大会が開かれた。町内から38名が参加し、日頃鍛えた腕を思う存分発揮され、囲碁Aの部で長尾実さん、Bの部で西村可一さん、将棋の部では岡村輝人さんがそれぞれ優勝されました。

1月8日、中央公民館において、文化を高める会主催による新春カルタ大会が行われた。これは、昭和58年度文化祭行事の一環として、また同好者の親睦と技術の向上をめざして開かれたもので町内より、中学生・高校生をはじめ20人の参加があり熱戦の中にも笑顔があふれていた。

▼ 早いもの勝ち



一月二日、文洋小学校においてタコあげ大会が行われた。これは、児童会活動の一環として開かれたもので、タコのできばえなどを競うコンテストがあり、タコの中には空高く見えなくなるほど上がるものもみられ、児童たちは、寒風にも負けず運動場いっぱい走り回っていた。

▲ 天まで 上がれ



油谷町の昔話

向津具に残る弘法大師の話

蚊がいない訳

北九州大学 西島七蔵

ある夏のこと、弘法大師が油谷島へおいでになり、泊部で、吉田という家に一夜の宿を頼まりました。

ところが、主人が申すには、「私の家は、非常に貧しいので蚊帳を買ってお金もない次第で、お客様をお泊めしても、ゆっくり眠んでいただくこともできません。誠に申し訳ありませんが、どうか他の家に頼んでみてはいただけませんか。」

と。大師様は、

「いや、それでもかまわないから一晩泊めておくれ。」と頼み、一泊されました。

それ以来、吉田という家には、夏になっても蚊が一匹も出なかったということです。

その後、吉田という家は他所に移り、上田という人がその家に移ったところ、また蚊が出るようになったということです。

